

○岡田議長 次に、田村議員。

〔田村議員質問席へ〕

○田村議員 会派自由創政、打って出る米子市を目指す田村謙介でございます。戸田議員の代表質問に関連して3項目、史跡米子城跡整備基本計画について、かわまち整備について、そして城下町エリアの回遊性向上についてただしてまいります。当局の明快な御答弁を期待しております。

まず、史跡米子城跡整備基本計画についてでございますが、先ほどの答弁におきまして、市内の回遊性を高めることで消費拡大につながる取組を行うとされました。この取組とは具体的にどのようなものなのかお尋ねいたします。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 米子城跡の三の丸広場や中海憩いのテラスといった拠点整備を行っております。それらを含めた拠点へ観光客の皆様などを円滑に周遊を促すために、観光案内看板の設置を進めておるところでございます。また、インフルエンサーを招聘したファムツアーを実施してまして、まちなか観光案内所や米子城跡・城下町エリア周辺の飲食店などの情報発信に努めてございます。あわせて、米子城跡周辺町歩きマップへ飲食店などの掲載を行いまして、観光客の皆様などの周遊促進を図っているところでございます。これらの取組を通じまして、駅周辺から彫刻ロード、米子城跡や城下町エリアの回遊性を高め、店舗、飲食店や観光スポットへの立ち寄りによりまして、消費拡大につなげていきたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 よく分かりました。以前と比べて、この観光案内マップというのも非常に充実してきておりますし、QRコードの活用等で利便性も図られている。これは非常に喜ばしいことではあります。この米子城跡の整備が今進んでおりまして、三の丸広場についてもほぼほぼ形ができてきたのかなというふうに思いますが、この史跡の周辺いわゆる町歩きをしていただいてというお話ありましたが、そうではなくって、そこに来ていただいた方がそこでお金を使っていただく、そういったマネタイズについてのお考えをお伺いいたします。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 史跡指定地内におきましては、文化財の価値を損なわない範囲での活用が求められておりますことから、商業施設の設置など継続的な収益化の取組は難しいと考えてございます。そのためダイヤモンド大山観望会やオレンジロード観望会を開催いたしまして、米子城跡周辺への集客を図りますことで、宿泊や飲食といった観光消費につなげる取組を行っているところでございます。

また、米子城跡・城下町エリア周辺の米子グルメや体験コンテンツに対する支援などを通しまして磨き上げを行い、それらの情報発信をすることによりまして、誘客を図り収益化につなげていきたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かるんですけども、私もそれ知らないわけではなくって、様々な制約があるということですが、この史跡の指定を受けていることによる経済活動への制約についてはど

のようなものがあるのか伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 史跡指定は地域の経済活動を妨げるものではございませんが、史跡の整備や活用を進めるに当たりましては、史跡の現状を変更する行為につきまして、文化財保護法に基づき文化庁長官の許可を得る必要がございます。史跡の整備や活用は学術的な根拠に基づいて行われる必要がございます。史跡が持つ歴史的価値を最大限に尊重し、遺構や環境を適切に保護するための措置が求められますことから、指定地内におきまして、現状変更を伴う商業施設などの設置は困難であり、現時点でそのような施設を設置する考えは持ってございません。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。で、ここで問題になってくるのが全国に様々な史跡がございます、城跡含めですね。そこに行って同じように何もできないんでしょうか。要するに米子だけができないとは言わないんですけれども、他の都市に行けば、やはり土産物屋があったりとか、その近隣で何らかのそのまちの商品、そのまち、城の名前を冠したような商品が売られておったりとか、国頭議員も言っておられましたけど、米子ラーメンであるとか、そういった米子何々ってというようなものがそこに行けば買えるという状況が、私も様々全国いろんなところ行きますが、そういうのができる現状というのがございます。そういった現状については把握をされているのか伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 具体的な事例を詳細には把握してございま

せんが、他市では保存協力金制度として駐車場の有料化や予約制のガイドツアーを実施され、時期を限定した魅力を発信されるなど、誘客を促進しお金を落とす仕組みづくりを進めておられると承知してございます。

また、竹田城跡を有する朝来市におきましては、訪れていただく観光客の皆様のニーズを受け、飲食店や宿泊施設が開業され、観光消費につなげておられることも承知してございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ということ承知されているのであれば、なおさらこういった先進事例について本市もしっかりと研究して取り組んでいく。マネタイズを図っていくということは、必要ではないかと思いたしますが、見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 本市におきましては、ダイヤモンド大山やオレンジロードの情報発信による認知度向上や誘客促進を行いつつ、観光事業者によるガイド、米子城跡周辺のガイドマップの作成など観光振興と経済活性化を進めているところでございます。引き続き他市の事例を参考にしながら、代表質問の市長の答弁にもあったような必要な施策につつまして実施していきたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 先ほど触れていただきましたが、代表質問において市長から広場の近くでお土産など買える施策というものについての言及がございまして、非常にすばらしい答弁だったと思いまし

た。これについて、やはりその史跡指定地というのはちょっと難しいなというのは私も感じるんですが、その隣接地における例えば都市計画の一部見直し等、風致地区等の見直しなど含めて、そういった商業地区、商業施設、米子城そばとか、そういったもののお店が出せるような見直しなどが図れないのか伺います。

○岡田議長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 まず、都市計画法上の整理でございますが、米子城跡の周辺につきましては、既にその第一種住居地域ですとか、あるいは商業地域ということで用途地域に既に指定がなされてございます。集客あるいは商業施設、一定のレベルのものについては、一定の規模については、立地が可能であります。今後につきましては、こういった点について積極的に発信をしてみたいと思っております。例えば、米子港・城下町周辺地区のまちづくり基本計画を今策定作業を進めておりますが、そういった中であってですとか、あるいは定期的に行っております不動産事業者を対象にしたまちづくり勉強会、こういった機会などを通じてこの点について発信をしてみたいというふうに考えております。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひお願いをしたいと思います。今の現状ですと、米子城跡の整備というのは進んでるんですけども、以前はあそこ、その前の内堀通りですか、あそこなんかは球場の土墨に面したところで、一切そういった商機がない通りでありました。しかしながら、今あのようにすばらしい整備があり、また公園として秋に完成ということになってきますので、そうなった際にはやはりこ

れ、市長がよく言われる軌を一にして、この行政、それと地元業者、そういった方々と同じわだちを進んで、ぜひあそこに商業地がどんどんついていく、そのような誘導をぜひ市が率先して行っていただきたい。これは強く要望したいと思います。

続きまして、既に完成をしております三の丸番所、これの利用状況について伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 三の丸番所の来訪者数は具体的には把握してございませんが、米子城跡の来訪者数をヤフージャパンの行動ビッグデータを基に分析いたしましたD S. I N S I G H Tを活用し、把握に努めているところでございます。同サイトの来訪者数を基に推計しました値といたしましては、令和7年11月が1万1,899人、同12月が1万436人、令和8年1月が9,403人でした。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。詳細にありがとうございます。

これでいくと、年間約10万人以上が来ている場所ということになります。この10万人の方が、例えば500円とか、300円でもいいんですけども、これ使っていくというようなことを考えると、やはりそれは一つの商売としてはやっつけていけるんじゃないかというふうに考えております。この三の丸番所というのを見てますと、正面見て右側、駐車場側から見て右側、ちょっと屋根のあるスペースがあるんですけども、ああいったところに、例えばまちなか観光案内所さんなんかのサテライト店舗等をイベントのときに出す、できれば恒常的に仮店舗が出店できたりとか、

私も以前御提案しておったようなキッチンカー等が毎月この日は来ますというような広報を伴って、市民の皆さんにもそこでお金を使っていただくというようなことが可能になってくると思うんですが、こういったサテライト店舗これの出店についての可能性、これを伺いたいと思います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 三の丸番所はスペースの制約上、店舗などを出店するという事はちょっとかないませんが、三の丸駐車場の一部では一定の基準を満たす場合に、先ほど議員がおっしゃいました、キッチンカーなどの出店というところは可能になっているところがございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。今までの答弁を振り返っても、やはりそこで商売、直接その城跡本体でお金を生むということよりは、至近距離にあるそういったところ、また駐車場で不定期ながらもマネタイズが図られるということが示されたと思いますが、やはり米子城跡というこの名前のつくその場所で、米子城というもの単体で観光地化、収益性を伴う観光地化を目指すべきだというふうに考えております。文化振興の側面が非常に強いのかなというふうに思っておりますが、これについては一生懸命お願いして、伊木市長の下で組織改編をしていただき、教育委員会から経済部に移管したという経緯がございます。やはりこれは経済につなげていただく必要があると強く思っております。この観光地化について市の見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 米子城跡は日本最強の絶景の城に選ばれたことから、各種媒体を通じまして情報発信を行っております。ダイヤモンド大山観望会、オレンジロード観望会、明けまして米子城！などの各種イベントも定着してきているというふうに考えてございます。最近では新たな魅力として鯛石の発信もされ、登城された皆様に喜ばれているところでもございます。あわせまして、民間事業者によりますダイヤモンド大山観望会のツアーの催行や周辺で文化体験といったコンテンツの造成も進めていただいております。引き続き関係各所と連携した米子城跡を中心とした観光施策を展開いたしまして、観光客の滞在時間延長を図り、観光消費の拡大につなげていきたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひお願いをしたいと思います。

続きまして、かわまち整備についてお伺いをいたします。

この項目につきましては、私、昨年12月議会についても同様の項目で質問をしております、重なる部分があるかと思いますが、御容赦お願いしたいと思います。

それでは、かわまち整備、これ今まで我々かわまち、かわまちと言っておりましたが、ようやく名称が決定となりました。中海憩いのテラスという名称ですね、これすばらしいなと思ったんですが、この名称決定に至るプロセスについてお伺いします。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 令和7年12月22日から令和8年1月16日の間にかけて、市民や在勤者、出身者の皆様を対象に名

称の公募を行いました。有効応募数は80件でございました。応募された名称案の中から庁内に設置しました選考委員会の選考によりまして、名称を中海憩いのテラスに決定したものでございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 このかわまち整備については、平成31年3月に中海・錦海かわまちづくり計画というのが示されまして、そこで委員会の説明等を受けておりました。しかしながら、この当初計画から若干変更となった部分というのが散見されます。この部分についての原因と対応状況についてお伺いします。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 市民や観光客の皆様が集う憩いの場所とするために、芝生広場やトイレ、屋根つきの休憩所などの便益施設を拡大し、駐車場の縮小を図っております。また、駐車場の縮小に伴いまして、乗り入れ可能なバスの設定を、大型バスから中型バスに変更しているところでございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。この大型バスが入れなくなったというのは非常に痛いなというふうに思っております、致し方ないのかなと。しかし中型バスは入れるよということなので、そういったグループにどんどん来ていただきたいというふうに思うんですが、当初は、この整備のイメージ図、いわゆるパース図において、民有地、ここにテラス、何らかの商業施設が描かれており、我々もこれはどういったものが入るのかなというのを非常に楽しみにこの7年間過ごしておったわけでございますが、昨日現在も

普通の作業小屋っていうんですか、工事的小屋とか石がごろごろしていると、そういう状況の中で間もなくこれのオープン、テープカットが行われるということでございました。

今頃それ言たって仕方ないのかも分かりませんが、この民有地の利活用については午前中の戸田議員からの質問でございましたが、やはりすぐにこの利活用については方針を出して、それについて民間事業者、商工会議所だとか、地権者との協議をとというお話ありましたが、7年間これがずうっとあって、この計画でここが民有地を当てにしている、このパース図においても飲食店の出店等を想定となっておるんですが、この交渉がされてなかったのかというふうに思っております。これはまさに軌を一にしていらない。国、県、市は一になってるんだけれども、それを包含している民有地の所有者の方とは一にならなかった。これは指摘せざるを得ませんが、現在の民有地の利活用方針についてお伺いします。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 本市は民有地に対しまして利活用方針を特段有しておりませんが、市長の答弁にございましたように、市民や観光客の皆様が集っていただく憩いの場所となるためには、民有地の有効活用も大切であるという認識は持っております。中海憩いのテラスに隣接する民有地につきましては、活用に向けて引き続き関係者と調整してまいりたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりませんが、これについては所有者の方との協議

がいつまでかかるのか分かりません。その方が商機を感じて店をされるのか、その方が借地として出して、そこに商機を感じるほかの事業者さんが店舗を建てるなど、様々なパターンがあると思うんですけども、もしそれが進まないのであれば、この国、県、市が整備したここを民間任せで、風任せの状態、いつまでも放置していいというふうには私は思いません。もしそれができないのであれば、これについてはもう公有地化を図って、市が率先してこの整備に取り組むべきではないかと私は考えますが、市の見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 隣接する民有地につきまして、計画策定時から市での公有地化は考えてございません。現時点においてもその考えは変わっていないところでございます。まずは、重ねになります、民間事業者の皆様のお力を借りながら、中海憩いのテラスが一層活用していただけるように調整を進めたいというふうを考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 まあ仕方がないですね。これは買え買えとは私は言いません。やはり民間さんがおやりになること、これをしっかりと、市もこのテラスという名前がついております。テラスというのは調べますと建物から屋外に接する、そういった場面、そういった場所だということになります、これでいくと現在はもう駐車場ということになります。テラスというこの名前がいいものがついたのにもかかわらず、その結節点ということではない状態っていうのは早期に解消していただきたい。これは強く要望したい

と思います。

次に、このコンセプトの中で米子駅周辺との結節点というものを目指すという考え方がございました。これについてどういふことなのか市の見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 米子駅周辺から米子城跡、中海憩いのテラス、城下町周辺につながる動線は、市民や観光客の皆様などの周遊によりまして、人流が発生するエリアになり得るといふふうに考えてございます。中海憩いのテラスには、駐車場やバス停留場の整備を進めておりまして、人流の結節になるものと考えているところでございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 これ結節点というのとは一つ想定の中には、加茂川の遊覧船というものが、インフラとして当初おありになつたのではないかといふふうに思っております。先般も門脇議員の一般質問で、加茂川の利活用について、この加茂川遊覧船についての指摘がございました。やはり、私も議会でも指摘しておるんですが、運航事業者の方の継続性、そういったものが担保されてない状況の中で、この船着場が整備されているということになりますと、これ使うんですかと、使えるんですかっていうことをやはり危惧してまいります。そうなってくるのであれば、やはりそういったリスクヘッジを図る意味でも、市内観光に資するインフラであるとするならばですよ、遊覧船が。であれば、この事業の継続性について、やはり各種団体等と協議といふのをすべきではなかつたのかといふふうに考えますが、見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 中海憩いのテラスには、親水護岸や船着場を整備していますことから、加茂川・中海遊覧船や水上アクティビティのより一層の活用や利活用促進について、地域の観光事業者をはじめ関係事業者の皆様の御意見を伺いながら進めていきたいというふうに考えてございます。遊覧船は本市の城下町観光の大切なコンテンツであり、中海憩いのテラスや城下町の観光資源と連携することで、城下町エリアを中心とした観光振興が図られると考えておりますことから、引き続き事業者の皆様のお力添えをいただき、必要な施策を講じていきたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 これについては、やはり民間の方にお任せではなくて、近くに松江城の遊覧船であったりとか、福岡県柳川市なんかもそういった遊覧船、城下町の遊覧船というのを持ってらっしゃる。そういったものの情報をしっかり集めて、やはりそういったどういう形で事業継続が図られているのかということについてはしっかりと勉強していただいて、これをみすみす失うなんていうことは絶対にならないように、これは市としては対応いただきたいというふうにこれも強く要望をしたいと思います。

次に、これも質問で出ておりましたが、この下町エリアへの誘導策というものについて、これは至近距離にございますこの駐車場に止めて、歩いて下町エリアに行っていただくというようなことについては、先般の委員会でも稲田委員のほうから歩道、横断歩道についての危険性というのは指摘があってございます。そう

いったものも含めて、誘導策、どのように、快適にそちらに行っていたか、その案内手法も含めて、どのようなものを想定しているのか市の見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 中海憩いのテラスが米子駅周辺と城下町エリアをつなぐ結節点となることで、市民や観光客の皆様などを米子駅から彫刻ロード、米子城跡、湊山公園、米子港方面へと中海側から城下町へ誘導するようなルートを構築していきたいというふうに考えてございます。城下町エリアへの誘導に向けましては、観光案内看板の設置や既存の米子城跡周辺まち歩きマップ、いわゆる「よなごじょうおさんぽクエスト」へ中海憩いのテラスを掲載を行いまして、周遊を図っていきたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。では、先ほど御答弁にございました誘導看板、これの設置方針についてお伺いします。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 これまで米子駅周辺や城下町エリアに観光客の皆様の周遊性を高めるために、多言語観光案内看板を複数基設置してございます。中海憩いのテラスにも同様に城下町エリアや駅周辺への円滑な周遊に向け、多言語観光案内看板の設置を予定しているところでございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。これも何度も質問して委員会でもお願いをしておった案件なんですけれども、湊山公園、いわゆるホ

スピタルパークですか、これの整備が進もうとしている、そういったエリアと今回の中海憩いのテラス、これをもう一旦県道をまたがずに直接結ぶ遊歩道、これの整備について要望を重ねております。これについて再度市の見解を伺います。

○岡田議長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 遊歩道につきましては、先ほど市長から答弁がございましたとおりでございます。今後の利用状況ですとか、今おっしゃった新しくできた遊歩道の利用状況ですとか、あるいは下水道の中央ポンプ場の移設の時期など踏まえながら、今後検討していくこととしているところであります。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。今後の検討ということで、これは楽しみにしたいなと思いますし、市民の方にもぜひ、その必要性というのを感じていただきたいというふうに考えております。

この項目最後になりますが、かわまち整備が行われるこのエリアも含めて、新たなウオーカブルエリア、今ウオーカブル整備といったらもう駅前とかそういったものが目立つんですが、そういったもののルートとして、今後一帯の整備というものを前向きに検討していただきたいと考えておりますが、見解を伺います。

○岡田議長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 この米子城の周辺におきましては、まず湊山公園が今後リニューアルがなされます。また来年度、米子城三の丸広場が新たに完成するというところで、非常に多くの資源が点在しているエリアでもございます。できるだけ資源を一体性を持たせながら周遊性を高めていくべきというふうに私ども考えて

おりますので、遊歩道も含めて、いわゆる一体的なウォークブルエリアとしての整備をしていくことは有効な手法だと考えてございます。今後様々な諸条件をクリアしながら、検討していきたいというふうに考えております。以上であります。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ありがとうございます。

○岡田議長 暫時休憩といたします。

午後 2 時 5 0 分 休憩

午後 3 時 0 3 分 再開

○岡田議長 休憩前に引き続き会議を開き、市政一般に対する質問を続行いたします。

田村議員。

○田村議員 それでは、最後の項目、城下町エリアの回遊性向上についてお伺いをしてまいります。

新たな案内看板につきまして、城下町エリアについて先般きれいな看板が設置されておりました。私も非常にいいなというふうに思ったんですが、このQRコードを活用した多言語化、そういったものを図れないのかなというふうに感じました。見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 今年度、加茂川沿いのポケットパークに多言語対応の観光案内看板を設置いたしました。令和8年度には、中海憩いのテラスに同様の観光案内看板の設置を予定してございます。案内看板には各施設のQRコードを掲載しておりまして、その施設のホームページが閲覧できるようにしているものでござ

います。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かるんですけども、私が言いたかったのは、各施設のエリアに小さいQRコードがいっぱい貼り付いてるっていうのは分かるんです。そうではなくって、外国人の方が例えばそれぱっとやっても日本語のものが出てくるわけですし、そうじゃなくって、下のところに外国人の方はこちらというようなものがあって、それをするとポータルサイトのようなものが言語で開けるといったものを想定して御提案をしておるものでございます。これについては追加の質問はいたしませんけれども、今後そのような対応をぜひいただきたい。私も先般、そこをずっと歩いてますとやはり外人さんって、一見してですね、外国の方という方もいらっしやいました。そういったものもお迎えするおもてなしの心で、ぜひ整備をいただきたい。これはお願いをしたいと思います。

次に、もう一つ古い看板があるんですね。遊覧船乗り場の近くに看板がございます。これ実は多言語化対応ということで、これを請け負った業者さんから、私がやっている国際交流団体のほうに多言語の翻訳をしてほしいというような依頼がございまして、お手伝いをさせていただきました。その際にしつらえというのを見せてもらったんですけども、明らかにこのかわまち整備が行われるその場所に、図面の説明がどおんと四角いのが落ちている状態ですし、左下に。これ私から意見申し上げて、ここはかわまち整備が行われるところが隠れちゃってるので、それを持ち上げてくれというふうに申し上げました。結果、そこがちょうどきれ

いに上がって、かわまちのところが白紙になっているという状況がございます。これによって、詳細、これかわまち整備が終わった後にはこういったものが書き加えられる状況というのをつくっておるわけですが、これについてはかわまち整備、中海憩いのテラス完成後に御対応いただきたいと、これをお願いしたいんですが、見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 観光案内看板の掲載内容につきましては、議員がおっしゃいますように期間の経過によりまして情報の変更が生じるということがございますので、一定期間ごとに更新することを想定してございます。それで、中海憩いのテラスの情報につきましては、先ほど御答弁いたしました観光案内看板のほうに情報を新しくするような予定にしてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。ぜひお願いをいたします。

それでは、例えば城下町エリアの9店舗もしくは空き家等に対して、現在数店舗、ベトナム料理の店であったりとか、ゲストハウスであったり、そういったものの出店の動きというのはあってございます。そういった場合、新たな店舗の出店があった際に、こういうものが都度、加筆ができるものなのか伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 先ほど御答弁させていただきましたように、看板につきましては一定期間で更新をすることを想定してございます。掲載する施設につきましては、更新時に掲載の全体的なバランスを考えながら検討することを考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 これもぜひお願いをしたいと思います。

続きまして、長田茶店周辺については、御努力によって喫茶のようなドリンクを提供されたりとか、まち歩きにコーヒーを持って歩くというような、そういった拠点になり得る整備というのを長田さんのほうでしていただきました。こういったものの周辺について、やはりまち歩きの回遊性を向上するという観点から再整備というものはできないのかな。照明であったりとかですね、そういったものを風情のあるものに置き換えるなどの対応ができないのか見解を伺います。

○岡田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 現在、長田茶店周辺の再整備につきましては具体的な計画は持ち合わせておりませんが、地元の方から道路の美装化を求める声は伺っておりまして、今後の民間事業者の動きなどを踏まえた上で、整備の必要性をよく見極めながら検討してまいりたいと考えておるところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。これも地元からの要望というのは私も承知しております。ぜひ連携していただいて、進めていただきたいというふうにお願いをしておきます。

次に、平成17年でしたっけ、街なみ環境整備事業というのがございました。連檐している建物の、歴史的な価値を見いだすというような観点から、屋外に出ている白いエアコンの室外機だったりとか、現代を感じさせるようなものを木で覆ったりとか、そういったようなまち歩きに資する整備というのが、何か年でした

か、平成25年まで実施されたというふうに記憶をしております。こういったものが、これは国の事業であったと思うんですけども、再度、この城下町エリアの回遊性向上、すなわちこのかわまち整備が進んで、三の丸広場もできてというような、これをこの機を捉まえて、この事業というのを市独自とは言いませんが、ぜひ国・県と相談していただいて、再度同様の整備事業というのを取り組めないのかということ、これはぜひ要望したいと思いますが、市の見解を伺います。

○岡田議長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 議員が触れられました街なみ環境整備事業については、過去に実施をいたしました。城下町エリアの道路の美装化ですとか、例示で挙げられました家屋の修景、そのほか加茂川広場の整備などを行ったところであります。今、同様な取組といたしまして、同じく国交省の補助事業で都市構造再編集中支援事業、この活用を念頭にいたしまして、米子港、そして城下町周辺地区の魅力を高めるための計画策定作業を進めております。この補助金につきましては、道路の美装化などだけではなくて、例えば湊山公園みたいな大規模な公園のリニューアルですとか、あるいは山陰歴史館のような拠点の再整備、こういったものにも活用が可能でございます、非常に幅広く使えます。できるだけこの補助金を私どもとしては有効に活用してまいりたいというふうに考えております。今地元の皆様方と意見交換を重ねておりますので、御要望とか御意見については、この基本計画の中にできるだけ反映をさせていきたいというふうに考えております。以上であります。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 前向きな御答弁でした。本当にありがとうございます。ぜひともお願いしたいと思います。

それでは、続きまして、これも私12月議会で言いましたQRコードを使ったまち歩きアプリの導入、寺町だったりとか何寺、何寺というのをQRでスタンプを押していくような、次々と歩いていく、そういった仕掛けづくりについて前向きな答弁を頂戴したところでございますが、これについては、やはり先ほど申し上げたように、かわまち整備ができたり、三の丸が整備ができたりというようなこの機を捉えて早期に実現していただきたいというふうに要望したいと思いますが、見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 令和8年度に中海憩いのテラスや米子城跡の三の丸広場が完成しますことから、これらを契機といたしまして、城下町や米子城跡への周遊を促進していきたいというふうに考えてございます。その取組の一つといたしまして、米子城跡周辺まち歩きマップの改訂を予定しているところでございます。

議員がおっしゃいますQRコードのまち歩きアプリにつきましては、導入・管理・運営が比較的容易なウェブ版の活用の検討を進めているところでございます。米子城跡三の丸広場のオープニングイベントに向けて準備を進めていきたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ありがとうございます。非常にうれしく思いますし、このタイミングをしっかりと図ってやっていただけるということ

は非常にうれしく思います。どうぞよろしく願いいたします。
本当にありがとうございます。

続きまして、この加茂川周辺につきましては、私も歩いてみると、空き店舗だったりとか空き住宅のようなものが散見されております。昔は貸しテレビ屋だったようなところが、ぽかっと開いてたりとか、非常にもったいないなというふうに思うんですが、1店舗だけたこ焼き屋さんが入ってたりとかということがございます。こういったものの空き店舗情報というのは市としては把握をされてらっしゃるんでしょうか伺います。

○岡田議長 若林経済部長。

○若林経済部長 加茂川周辺の中で商店街エリアでございます本通りや笑い通り周辺については、市が実施いたします空き店舗調査の対象区域に含まれており、空き店舗の状況を把握しているところでございます。一方で、尾高町から下流域のエリアにつきましては、現時点で調査対象区域とはなっておりません。一部で新規出店の動きがあることは承知しておりますが、詳細な状況については把握をしていないところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 これについては、戸田議員からも工業用地の話なんかも出ました。市として空き家バンクではないんですけども、こういったところが空いてて、こういったところが商売適してますよというような情報をぜひ提供できるような体制というのを取っていただけないか、民間任せで勝手におやりになっているということではなくって、戦略的に、ここからここまでの動線を人に歩いていただく。しかも、マネタイズを伴うということを考えてい

ただいて、ぜひその情報を共有いただいて、提供をしていただくと。商工会議所さん等とも連携をいただくとというようなこともあるかと思いますが、これについてはぜひお願いしたいと思います。

次に、これも先議会でお話ししております、加茂川緑地と対岸にある加茂川公園というものについての連絡橋について要望させていただきましたが、当面の間は隣にある京橋を使うというようなお話がございました。これについては、当面の間はというのは非常に私も仕方がないかというふうに思うんですが、やはりこのウォークブルということを考えますと、そこをまち歩きとして非常に有効なルートになるということと、もう一つは、この対岸を挟んで、別々に存在するこの加茂川緑地と加茂川広場というものを連携することによって、例えば桜まつりなど、川沿いの、緑地側の桜をめでて、広場のほうで例えば出店があつてみんなでそっちでイベント等が行われるというような使い方もできるわけがございまして、地元の方からは非常に要望が高いというふうに私も感じますし、取材で私、2時間ぐらいあの辺うろうろして、そこで出会った数名の方に、すみませんがということで、ここにもし橋があつたらどうですかって言ったら、皆さんぜひやってほしいと、それええ話だがなつてというような反応がございました。東京から来たという女性が1人いたんですけど、そんなすてきなことをすぐやってくださいというふうに言っておられました。

そういったニーズというのが、京橋というのはもちろん米子の宝としてあるんでしょうけれども、やはりその有効活用、せっかくきれいに整地してきれいな公園ができてるわけですが、今現在残念ながら活用されているとは思えません。こういったものにつ

いてはぜひ取り組んでいただきたいというふうに感じますが、この検討状況についてお伺いします。

○岡田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 加茂川緑地と加茂川広場の連絡橋の整備ということでございますが、城下町エリアの周遊性を高めるための施策の一つになり得ると認識しておるところでございますが、その整備につきましては、費用対効果やほかの事業等の優先度などを十分に検討した上で判断していく必要があると考えておるところでございます。現在のところ、連絡橋整備につきましては、具体的な検討は行っておりませんが、まずは歩行者の安全性確保のために、周辺市道におけます交通規制の実施や路面標示等による歩行者動線の明確化などの対策を検討しながら、周辺の既存橋を活用し、エリア内を周遊をしていただく方向で考えておるところでございます。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。城下町エリアの周遊性を高める施策の一つになり得るとの認識を頂戴しました。これについては、やはり市としても、これあったほうがいいよねと、あったらいいよねというようなお考えであるというふうに前向きに捉えたいと思います。これについては、ぜひウオーカブル整備というのが、これは何度も言ってますけれども、市としては歩いて楽しいまちということを目指されるのであれば、やはりそういったものもウオーカブル整備の一環として取り組むべきではないかというふうに感じますが、再度見解を伺います。

○岡田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長　まずは、現在城下町エリア内で計画されております歩いて楽しいまちづくりに向けた取組などにより、エリア内の周遊性や魅力を向上させた上で、連絡橋整備の必要性や優先度などにつきまして判断をしてまいりたいと存じます。以上です。

○岡田議長　田村議員。

○田村議員　それで、この加茂川沿いに、いわゆる1段、船着場の辺りにもあるんですけれども、数メートル川側にせり出したテラスのようなエリアがございます。こういったものを何かで活用できないかなというふうに思っております。以前、私、御提案して、地域おこし協力隊等の御協力によって、あそこで白壁土蔵のライトアップというのを実証実験やったことがありました。そのときには、先般も申し上げたと思いますが、約500名ぐらいの方が一晩で集まってこられたということですので、こういった方々が護岸のテラス部分で、例えばコーヒーを飲んだりとか、そういったような風情を楽しむようなエリアになるんじゃないかというふうに感じております。もちろん危険回避の柵は必要だと思うんですけれども、大阪の道頓堀川なんかもそういったテラス整備というのはなされて人が集まる。私が大阪おったときはあんなもんなかったんですけども、最近行ったら、ええっとびっくりするぐらい人が集う場所に変わってるんですね。なので、こういった加茂川のテラスについては観光整備したらどうかなというふうに、これは御提案したいと思いますが、見解を伺います。

○岡田議長　石田文化観光局長。

○石田文化観光局長　加茂川護岸のテラスの活用につきましては

令和2年度に秋の加茂川まつりのイベントの一環とされ、加茂川広場で民間団体の方々が提供されるドリンクなどを城下町や河川空間の雰囲気を感じながら飲食できるスペースといたしまして、そちらの部分にベンチなどを設置されたことがございます。今後、護岸部の活用について民間団体などの具体的な意向がある場合には、必要に応じ支援など行っていききたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひお願いしたいと思います。民間団体が勝手におやりになったということではなくてそういった可能性について、しっかり市としても活用できますよと、例えば県の許可であったりとかいろいろなものがあると思うんですけども、ある一定のクリアすべき課題をクリアさえすれば、こういったすてきな空間があるんですというようなことが言えると思いますので、それについてはぜひ積極的に、情報提供など、発信などを行っていただきたいというふうに要望したいと思います。

それで、次、この彫刻ロードというのが、これ戸田議員からも度々出ておりましたが、これがかわまち整備の近くの辺りで途絶をしているという状況がございます。これ、あそこまでこのQRコード、ピッピピッピ、作品名をたどりながらまたQRコードでのスタンプラリー的な形で歩いてこられた方がそこから先が途絶してるという状態がございますが、これについては寺町のQRコードのスタンプラリーというのも、もうこれは前向きな答弁をいただいておりますが、その先にあるお地藏さん、これ市長からもございました。そういったものも彫刻作品と見立てて、そ

こをたどって歩くというような活用もできるんじゃないかというふうに感じております。これはぜひ観光資源として取り組んでいただきたいと思いますが、見解を伺います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 彫刻ロードや地蔵巡りのルートにつきましては、それぞれ設置や目的などが異なっているものでございますが、どのような取組ができるのか、それぞれ案内されているような観光事業者の御意見を伺っていきたいというふうに考えてございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 12月議会で私の答弁、これは白壁土蔵群のライトアップを行うことで川面に浮かぶ光、桜の木など、風情がある状況を醸し出すために護岸灯の設置を要望してきたが、現在の検討状況を伺うということで、市のほうからは加茂川護岸に明かりを整備することで米子港周辺や城下町エリアにおける夜間のまち歩きにつながる新たなコンテンツになると考えている。今後、城下町エリアの環境整備や山陰歴史館の再整備など周遊を促し、消費を増やす取組を進める中で設置方法や費用の整理、調査などを行いたいという、これは私としては前向きな答弁をこれ頂戴しております。この護岸灯の連担設置について、現在の検討状況、これを伺いたいと思います。

○岡田議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 現在の検討状況というところでございますが、加茂川沿いの市道などにおきまして、明かりを併せて整備するような事業予定がないということは今確認しているところでござ

ございます。そのことから、以前答弁させていただきましてとおり、今後の城下町エリアの環境整備や山陰歴史館の再整備など周遊を促し消費を増やす取組を進めていく中で、明かりの整備につきましても関係者の皆さんから御意見を伺い、設置方法や費用などの整理、調査を行いたいというふうに考えているところでございます。以上です。

○岡田議長 田村議員。

○田村議員 これ最後になりますけれども、護岸灯の連担設置について、夜のそぞろ歩きの風情を醸し出すということについては、以前から申し上げておりましたし、K A I K E A K A R I P A R K実証実験というのは令和3年に行われ、現在、皆生みらいの灯りですか、明かりによる温泉風情の創出という事業がなされております。私も行きましたが、非常に風情があって、皆生に立ち寄ったらちょっと歩いてみようかなというようなことでありました。駅前のイチョウ並木のライトアップというのも12月議会で御提案申し上げ、これもまちの景観、快適な空間形成などの観点で、歩いて楽しいまちを彩る一つのコンテンツになり得るものと認識しており、必要な対応を考えていきたいという前向きな答弁も頂戴しております。

この町並みのライトアップということについて、私、写真を撮って加工してまいりましたので、ぜひ御覧ください。これ、白壁土蔵のところなんですけれども、加工させていただきました。私が頭に描いている連担灯の設置というのはこういうことでございます。今、夜になると真っ暗で、きれいな、白壁土蔵というのは並んではいますけれども、やはりそこに光が当たってないという

ことによって、何にも活用されてない。これをこのようにライトアップすることによって、私がこの写真を見てもらった全ての人からネガティブな発言は一切ありませんでした。観光地じゃないかと、これ歩きたいなど、様々な反応がございましたが、こういったものを視覚的に訴えて町並みの整備というのはやっぱりやっていくべきではないかというふうに私は訴えたいと思います。

私も平成26年初当選以降、一貫して米子城跡、また周辺の観光地化ということを訴えてまいりました。最初は、そんなもん無理だ、やめとけという方が周りにも多かったんですけども、その後、一生懸命、平成29年、保存活用計画、平成31年には整備基本計画ができ、また伊木市政の下で教育委員会から経済部への移管、そして駐車場、手すり、トイレ整備などが進み、今この整備というのは着実に進みつつあるというふうに思っております。これをぜひ足を止めることなく、米子市は稼ぐまちなんだということをぜひ考えていただきたいというふうに思いますし、先般2月20日の高市首相の所信表明演説で、挑戦しない国には未来はありませんという言葉がありました。米子も同じように打って出るといふふうに私は言っておりますが、歴史的建造物の復元整備など、さらに魅力を高める米子市をつくって、引き続き打って打って打って打って打って出る米子市を目指したいというふうにお誓いを申し上げ、私の質問を終えたいと思います。ありがとうございました。